

対象技術一覧

診療科	番号	先進医療技術名称		適応症
		22年3月以前	新技術名	
消化器外科	32	膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術 (インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	腹腔鏡補助下膵体尾部切除又は核出術	膵内分泌系腫瘍その他の膵良性又は低悪性腫瘍
	58	腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るものに限る。)	腹腔鏡下直腸固定術	直腸脱
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術 (BMI(体重(キログラム))を身長(メートル)の二乗で除して得た数値をいう。)が三十五以上の肥満症に係るものに限る。)	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	BMI (患者の体重をキログラムで表した数値をその者の身長をメートルで表した数値の二乗で除して得た数値をいう。)が35以上の肥満症
血管外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術 (下肢慢性静脈不全症 (下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するもの)ととも、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないもの)に限る。)	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	下肢慢性静脈不全症 (下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するもの)ととも、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認されるものに限る。)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術 (最大径が十ミリメートル以下であって、石灰化、感染又は瘤化していない動脈管の動脈管開存症に係るものに限る。)	胸腔鏡下動脈管開存症手術	動脈管開存症 (最大径が十ミリメートル以下であって、石灰化、感染又は瘤化していない動脈管に係るものに限る。)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術 (内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	経皮的レーザー椎間板減圧術	椎間板ヘルニア
	22	鏡視下肩峰下腔徐圧術 (透折アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	鏡視下肩峰下腔徐圧術	肩インピンジメント症候群
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療 (腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊髄管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛 (保存治療に抵抗性)のものに限る。)	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊髄管狭窄症又は腰下肢痛 (腰椎手術を実施した後のものであって、保存治療に抵抗性を有するものに限る。)

診療科	番号	先進医療技術名称		適応症
		22年3月以前	新技術名	
産婦人科	46	一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。)に係るものに限る。)	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠症例 (妊娠16週以上26週以下のものに限る。)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術 (手術進行期分類1b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	手術進行期分類1b期までの子宮体がん
泌尿器科	38	膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術 (膀胱尿管逆流症 (国際分類グレードVの高度逆流症を除く。)に係るものに限る。)	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	膀胱尿管逆流症 (国際分類グレードVの高度逆流症を除く。)
	40	泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術 (泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるもの)に係るものに限る。)	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	泌尿生殖器腫瘍 (リンパ節転移の場合及び画像によりリンパ節転移が疑われる場合)に限る。)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術 (尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍 (精巣がんから転移したもの)に限る。)	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍又は後腹膜リンパ節腫瘍 (精巣がんから転移したもの)に限る。)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術 (膀胱尿管逆流症又は巨大尿管症に係るものに限る。)	腹腔鏡下膀胱内手術	膀胱尿管逆流症又は巨大尿管症
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術 (浸潤性膀胱がん)に係るものに限る。)	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	浸潤性膀胱がん

I. 実施責任医師の要件

I-01 診療科 (医師)

診療科番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32 腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	消化器科又は外科	消化器外科
	58 腹腔鏡下直腸固定術	外科	消化器外科
	84 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	消化器外科	(変更なし)
血管外科	76 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	血管外科又は心臓血管外科	(変更なし)
	83 胸腔鏡下動脈管開存症手術	心臓血管外科	(変更なし)
整形外科	8 経皮的レーザー椎間板減圧術	整形外科又は脳神経外科	(変更なし)
	22 鏡視下肩峰下腔除圧術	整形外科	(変更なし)
	29 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	整形外科又は麻酔科	(変更なし)
産婦人科	46 内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	小児外科又は産科	(変更なし)
	70 腹腔鏡下子宮体がん根治手術	産婦人科	(変更なし)
泌尿器科	38 腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	泌尿器科	(変更なし)
	40 泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	泌尿器科	(変更なし)
	65 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	泌尿器科	(変更なし)
	85 腹腔鏡下膀胱内手術	泌尿器科	(変更なし)
	86 腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	泌尿器科	(変更なし)

I-02 資格

診療科番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32 腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	消化器外科専門医	(変更なし)
	58 腹腔鏡下直腸固定術	消化器外科専門医	(変更なし)
	84 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	消化器外科専門医	(変更なし)
血管外科	76 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	外科専門医	外科専門医又は心臓血管外科専門医
	83 胸腔鏡下動脈管開存症手術	心臓血管外科専門医	(変更なし)
整形外科	8 経皮的レーザー椎間板減圧術	整形外科専門医又は脳神経外科専門医	(変更なし)
	22 鏡視下肩峰下腔除圧術	整形外科専門医	(変更なし)
	29 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	整形外科専門医又は麻酔科専門医	麻酔科専門医又は整形外科専門医
産婦人科	46 内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	小児外科専門医又は産婦人科専門医	(変更なし)
	70 腹腔鏡下子宮体がん根治手術	産婦人科専門医	(変更なし)
泌尿器科	38 腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	泌尿器科専門医	(変更なし)
	40 泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	泌尿器科専門医	(変更なし)
	65 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	泌尿器科専門医	(変更なし)
	85 腹腔鏡下膀胱内手術	泌尿器科専門医	(変更なし)
	86 腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	泌尿器科専門医	(変更なし)

I-03 当該診療科の経験年数

診療科番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32 腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	—	10年以上
	58 腹腔鏡下直腸固定術	10年以上	(変更なし)
	84 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	8年以上	10年以上
血管外科	76 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	5年以上	(変更なし)
	83 胸腔鏡下動脈管開存症手術	10年以上	(変更なし)
整形外科	8 経皮的レーザー椎間板減圧術	—	5年以上
	22 鏡視下肩峰下腔除圧術	—	5年以上
	29 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	10年以上	(変更なし)
産婦人科	46 内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	—	5年以上
	70 腹腔鏡下子宮体がん根治手術	5年以上	(変更なし)
泌尿器科	38 腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	5年以上	(変更なし)
	40 泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	5年以上	(変更なし)
	65 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	5年以上	(変更なし)
	85 腹腔鏡下膀胱内手術	5年以上	(変更なし)
	86 腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	5年以上	(変更なし)

I-04 当該技術の経験年数

診療科番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32 腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	5年以上	(変更なし)
	58 腹腔鏡下直腸固定術	3年以上	2年以上
	84 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	2年以上	(変更なし)
血管外科	76 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	1年以上	(変更なし)
	83 胸腔鏡下動脈管開存症手術	2年以上	(変更なし)
整形外科	8 経皮的レーザー椎間板減圧術	5年以上	(変更なし)
	22 鏡視下肩峰下腔除圧術	5年以上	3年以上
	29 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	3年以上	(変更なし)
産婦人科	46 内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	5年以上	(変更なし)
	70 腹腔鏡下子宮体がん根治手術	3年以上	(変更なし)
泌尿器科	38 腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	3年以上	(変更なし)
	40 泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	3年以上	(変更なし)
	65 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	1年以上	(変更なし)
	85 腹腔鏡下膀胱内手術	1年以上	(変更なし)
	86 腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	2年以上	(変更なし)

分類 ④ 体腔鏡手術 (15 技術)

I-05 当該技術の経験症例数

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	助手又は術者として20例以上、うち術者として10例以上	助手又は術者として10例以上、うち術者として5例以上
	58	腹腔鏡下直腸固定術	術者として3例以上	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	助手又は術者として7例以上、うち術者として2例以上	(変更なし)
外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	術者として5例以上	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	助手又は術者として15例以上、うち術者として5例以上	術者として10例以上
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	助手又は術者として20例以上、うち術者として10例以上	術者として10例以上
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	助手又は術者として20例以上、うち術者として10例以上	術者として10例以上
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	助手又は術者として20例以上、うち術者として10例以上	術者として10例以上
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	助手又は術者として10例以上、うち術者として5例以上	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	術者として5例以上	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	助手又は術者として10例以上、うち術者として5例以上	術者として5例以上
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	助手又は術者として10例以上、うち術者として5例以上	術者として5例以上
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	術者として3例以上	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	術者として3例以上	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	術者として5例以上	(変更なし)

I-06 その他 (医師)

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	—	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	—	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	—	(変更なし)
外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	—	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	—	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	—	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	—	(変更なし)
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	—	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	—	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	—	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	—	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	—	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	—	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	—	(変更なし)

II. 医療機関の要件

II-01 診療科 (医療機関)

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	消化器科又は外科、及び麻酔科	消化器外科及び麻酔科
	58	腹腔鏡下直腸固定術	外科及び麻酔科	消化器外科及び麻酔科
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	消化器外科、麻酔科及び内科	(変更なし)
血管外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	血管外科又は心臓血管外科	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	心臓血管外科、麻酔科及び小児科	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	整形外科又は脳神経外科	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	整形外科及び麻酔科	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	整形外科及び麻酔科	(変更なし)
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	実施医師が小児外科の場合は小児外科、産科及び麻酔科、実施医師が産科の場合は小児科、産科及び麻酔科	小児科、小児外科、産科及び麻酔科
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	産婦人科及び麻酔科	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	泌尿器科	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	泌尿器科及び麻酔科	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	泌尿器科	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	泌尿器科	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	泌尿器科	(変更なし)

II-02 実施診療科の医師数

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	常勤医師3名以上	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	常勤医師2名以上	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	常勤医師2名以上	(変更なし)
血管外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	常勤医師2名以上	常勤医師1名以上
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	常勤医師1名以上	常勤医師2名以上
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	常勤医師3名以上	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	常勤医師3名以上	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	常勤医師3名以上	(変更なし)
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	常勤医師3名以上	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	常勤医師3名以上	常勤医師2名以上
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	常勤医師2名以上	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	常勤医師2名以上	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	常勤医師1名以上	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	常勤医師2名以上	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	常勤医師2名以上	(変更なし)

分類 ④ 体腔鏡手術 (15 技術)

平成 22 年度先進医療 医療機関の要件 (分類別比較)

II-03 他診療科の医師数

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	麻酔科医師1名以上及び病理医1名以上	病理医1名以上
	58	腹腔鏡下直腸固定術	麻酔科常勤医師1名以上	(削除)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	麻酔科医師1名以上、内科医師1名以上	内科医師1名以上
外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	—	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	—	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	麻酔科医師1名以上	(削除)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	整形外科医師1名以上及び麻酔科医師1名以上	(削除)
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	実施医師が小児外科の場合は産科医師1名以上及び麻酔科医師1名以上、実施医師が産科の場合は小児科医師1名以上及び麻酔科医師1名以上	(削除)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	麻酔科医師1名以上、病理医1名以上	病理医1名以上
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	麻酔科標榜医1名以上	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	麻酔科医師1名以上及び病理医1名以上	病理医1名以上
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	麻酔科標榜医1名以上	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	麻酔科標榜医1名以上	(変更なし)
86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	麻酔科標榜医1名以上	(変更なし)	

II-04 その他医療従事者の配置

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	—	臨床工学技士1名以上
	58	腹腔鏡下直腸固定術	臨床工学技士1名以上	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	臨床工学技士1名以上、管理栄養士1名以上	(変更なし)
外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	臨床工学技士1名以上
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	臨床工学技士1名以上	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	臨床工学技士1名以上	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	—	臨床工学技士1名以上
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	—	臨床工学技士1名以上
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	臨床工学技士1名以上	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	—	臨床工学技士1名以上
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	—	臨床工学技士1名以上
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	—	臨床工学技士1名以上
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	—	臨床工学技士1名以上
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	臨床工学技士1名以上	(変更なし)
86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	臨床工学技士1名以上	(変更なし)	

II-05 病床数

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	—	20床以上
	58	腹腔鏡下直腸固定術	20床以上	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	20床以上	(変更なし)
外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	20床以上	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	100床以上	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	1床以上	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	—	20床以上
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	—	1床以上
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	200床以上	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	1床以上	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	1床以上	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	1床以上	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	1床以上	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	20床以上	(変更なし)
86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	20床以上	(変更なし)	

分類 ④ 体腔鏡手術 (15 技術)

平成 22 年度先進医療 医療機関の要件 (分類別比較)

II-06 看護配置

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	—	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	入院患者の数が10又はその端数を増すごとに1名以上(ただし、当該病棟において、一日に看護を行う看護職員の数が前段に規定する数に相当する数以上である場合には、当該病棟における夜勤を行う看護職員の数が、前段の規定にかかわらず、二以上であること。)	(削除)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	入院患者の数が10又はその端数を増すごとに1名以上(ただし、当該病棟において、一日に看護を行う看護職員の数が前段に規定する数に相当する数以上である場合には、当該病棟における夜勤を行う看護職員の数が、前段の規定にかかわらず、二以上であること。)	(削除)
血管外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	入院患者の数が10又はその端数を増すごとに1名以上(ただし、当該病棟において、一日に看護を行う看護職員の数が前段に規定する数に相当する数以上である場合には、当該病棟における夜勤を行う看護職員の数が、前段の規定にかかわらず、二以上であること。)	(削除)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	入院患者の数が10又はその端数を増すごとに1名以上(ただし、当該病棟において、一日に看護を行う看護職員の数が前段に規定する数に相当する数以上である場合には、当該病棟における夜勤を行う看護職員の数が、前段の規定にかかわらず、二以上であること。)	(削除)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	—	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	—	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	—	(変更なし)
人産婦科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	—	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	—	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	—	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	—	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	—	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	—	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	—	(変更なし)

II-07 当直体制

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	要	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	要	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	要	(変更なし)
	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	要	(変更なし)
血管外科	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	要(専ら心臓血管外科に従事する医師が当直を行っていること)	要
	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	要	(変更なし)
整形外科	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	要	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	要	(変更なし)
	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	要	(変更なし)
泌尿器科	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	要	(変更なし)
	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	要	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	要	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	要	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	要	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	要	(変更なし)

II-08 緊急手術の実施体制

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	要	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	要	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	要	(変更なし)
血管外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	要
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	要	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	要	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	要	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	要	(変更なし)
人産婦科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	要	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	要	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	要	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	要	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	要	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	要	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	要	(変更なし)

分類 ④ 体腔鏡手術 (15 技術)

II-09 院内検査 (24 時間実施体制)

診療科	番号	先進医療新技術名称	22 年 3 月以前	22 年 4 月以降
外科 消化器	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	要	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	要	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	要	(変更なし)
外科 血管	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	要
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	要	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	要	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	要	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	要	(変更なし)
人産婦科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	要	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	要	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	要	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	要	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	要	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	要	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	要	(変更なし)

II-10 他の医療機関との連携体制

診療科	番号	先進医療新技術名称	22 年 3 月以前	22 年 4 月以降
外科 消化器	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	—	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	—	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	—	(変更なし)
外科 血管	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	—	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	—	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	—	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	—	(変更なし)
人産婦科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	—	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	—	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	—	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	—	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	—	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	—	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	—	(変更なし)

II-11 医療機器の保守管理体制

診療科	番号	先進医療新技術名称	22 年 3 月以前	22 年 4 月以降
外科 消化器	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	要	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	要	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	要	(変更なし)
外科 血管	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	要	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	要	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	要	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	要	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	要	(変更なし)
人産婦科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	要	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	要	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	要	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	要	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	要	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	要	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	要	(変更なし)

II-12 倫理委員会による審査体制

診療科	番号	先進医療新技術名称	22 年 3 月以前	22 年 4 月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	要 (必要なときは必ず事前に開催)	要 (届出後当該療養を初めて実施するときは必ず事前に開催)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	—	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	要 (届出後当該療養を初めて実施するときは必ず事前に開催)	(変更なし)
外科 血管	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	—	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	—	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	要 (必要なときは必ず事前に開催)	(削除)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	要 (必要なときは必ず事前に開催)	(削除)
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	要 (当該療養を実施するときは必ず事前に開催)	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	要 (必要なときは必ず事前に開催)	(削除)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	—	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	—	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	—	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	—	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	—	(変更なし)

分類 ④ 体腔鏡手術 (15 技術)

平成 22 年度先進医療 医療機関の要件 (分類別比較)

II-13 医療安全管理委員会の設置

診療科	番号	先進医療新技術名称	22 年 3 月以前	22 年 4 月以降
外科 消化器	32	腹腔鏡補助下膝体尾部切除又は核出術	要	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	要	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	要	(変更なし)
外科 血管	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	要	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	要	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	要	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	要	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	要	(変更なし)
人産婦科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	要	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	要	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	要	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	要	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	要	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	要	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	要	(変更なし)

II-14 当該技術の実施症例数

診療科	番号	先進医療新技術名称	22 年 3 月以前	22 年 4 月以降
外科 消化器	32	腹腔鏡補助下膝体尾部切除又は核出術	10 例以上	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	10 例以上	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	5 例以上	(変更なし)
外科 血管	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	5 例以上	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	5 例以上	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	10 例以上	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	10 例以上	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	10 例以上	(変更なし)
人産婦科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	5 例以上	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	10 例以上	5 例以上
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	5 例以上	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	5 例以上	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	3 例以上	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	3 例以上	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	5 例以上	(変更なし)

II-15 その他 (医療機関)

診療科	番号	先進医療新技術名称	22 年 3 月以前	22 年 4 月以降
外科 消化器	32	腹腔鏡補助下膝体尾部切除又は核出術	病理部門が設置されていること	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	—	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	—	(変更なし)
外科 血管	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	—	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	—	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	—	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	—	(変更なし)
人産婦科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	—	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	病理部門が設置されていること	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	—	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	病理部門が設置されていること	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	—	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	—	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	—	(変更なし)

分類 ④ 体腔鏡手術 (15 技術)

Ⅲ. その他の要件

Ⅲ-01 頻回の実績報告

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	10例まで又は6月間は、1月毎の報告	10例までは症例毎に全数報告
	58	腹腔鏡下直腸固定術	5例まで又は4月間は、1月毎の報告	(削除)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	12月間は、1月毎の報告	10例までは症例毎に全数報告
血管外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	5例まで又は3月間は、1月毎の報告	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	12月間は、1月毎の報告	12月間又は10例までは、1月毎の報告
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	10例まで又は6月間は、1月毎の報告	10例までは症例毎に全数報告
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	10例まで又は6月間は、1月毎の報告	(削除)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	10例まで又は6月間は、1月毎の報告	10例までは症例毎に全数報告
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	10例まで又は6月間は、1月毎の報告	10例までは症例毎に全数報告
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	5例まで又は6月間は、1月毎の報告	(削除)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	—	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	—	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	—	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	—	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	—	(変更なし)

Ⅲ-02 その他

診療科	番号	先進医療新技術名称	22年3月以前	22年4月以降
消化器外科	32	腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	—	(変更なし)
	58	腹腔鏡下直腸固定術	—	(変更なし)
	84	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	—	(変更なし)
血管外科	76	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	—	(変更なし)
	83	胸腔鏡下動脈管開存症手術	—	(変更なし)
整形外科	8	経皮的レーザー椎間板減圧術	—	(変更なし)
	22	鏡視下肩峰下腔除圧術	—	(変更なし)
	29	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	—	(変更なし)
産婦人科	46	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	—	(変更なし)
	70	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	—	(変更なし)
泌尿器科	38	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	—	(変更なし)
	40	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	—	(変更なし)
	65	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	—	(変更なし)
	85	腹腔鏡下膀胱内手術	—	(変更なし)
	86	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	—	(変更なし)